## 貝殼追放

「心づくし」の序

水上瀧太郎

鞭たん事は余をして苦痛と歡喜とを相まじへたる一種の快感を味 め自を責むる訓戒の一助となさんとするに過ぎず。 若輩にして心動き易き自をして再びはかゝる悔なからしめんが爲 ていづれは昨日の事の悔まれぬはなきが中にもかゝる作品を出せ 作品中最も厭ふべく忌むべきものと自おもへるところのものにし に安價なる慰安を求めてしかも自を宜しと思へりし昨日の己れを し事は就中余の不快とするところなり。今改めて之を市に出すは 乍末余は再びかゝる低級なる作品を出す事なきを確く信じて疑 此 の集收むるところの作品の過半は今日までに發表したる余の 淺薄なる皮肉

はざる事を附記す。(大正四年二月四日)

## 青空文庫情報

底本:「水上瀧太郎全集 九卷」岩波書店

1940(昭和15)年12月15日発行

校正:門田裕志

入力:柳田節

2005年1月19日作成

青空文庫作成ファイル:

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫(http://ww

w.aozora.gr.jp/)で作られました。入力、校正、 制作にあたった

のは、ボランティアの皆さんです。

## 貝殻追放「心づくし」の序

2020年 7月13日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

著者 水上瀧太郎

URL http://www.aozora.gr.jp/

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL http://aozora.xisang.top/

BiliBili https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks

青空文庫 威沙